

■ 岐阜環境医学研究所・座禪洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9：00～12：00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
 152号 2016.11.1.
 毎月1回発行 座禪洞診療所 松井英介

座禪洞だより



「国内植民地化」

松井英介

中脇哲演さんは、「世界一の原因銀座」にある寺、若狭・明通寺（真言宗御室派・小浜市）の住職。15基の原因が並ぶ若狭現地で反原発市民運動を展開。1968年関西電力が小浜市につくろうとした原発4基をストップさせたお坊さんとして知られています。

その哲演さんが岐阜に来られるというので、10月21日（金）、岐阜県不破郡垂井町・明泉寺まで足を延ばしました。プログラムの表紙には、「2016年 彰元さんのつどい」 講義：中脇哲演さん 主催：真宗大谷派大垣教区、とあります。

明泉寺の山門向かって左には石碑（写真1）が建っており、「戦争は罪悪である 竹中彰元師之寺」と刻まれています。

毎年彰元さんの命日に集いが開かれ、今年はちょうど70周年。プログラムには、竹中彰元師についてと題してつぎのように書かれています。



「1937年7月、日本は盧溝橋事件を機に日中全面戦争に突入、日本各地で青年の出征は増加の一途となりました。同時に真宗大谷派をはじめ、日本仏教界はためらいなく積極的な戦争協力体制を作っていました。しかし、明泉寺前住職・竹中彰元師は、公然と『戦争は罪悪である』、『この度の事変について自分は侵略のように考える』と発言して逮捕、有罪判決を受けたのです。これを受け大谷派も彰元師に厳しい処分を下しました」。

哲演さんは、1942年小浜市生まれ。活力あふれる74歳（写真2）。高野山大学在学中、1963年に広島原爆の男性被爆者との出会いをきっかけに、被爆者支援の活動。1969年地元漁協が「内外海原発設置反対推進協議会」を結成。1971年暮れ、同協議会の後継組織「原発設置反対小浜市民の会」の事務局長に。

「『国策』としての戦争と原発—国策をこえる仏教」と題した哲演さんの講義は聴衆を惹きつけて放しませんでした。私には、次のくだりが最も印象的でした。

「植民地支配・侵略戦争の被害を受けた朝鮮・中国などの国民と日本本土の国民との関係は、原発を押しつけられた現地住民と電力消費大都市圏住民との関係に通じる」。

哲演さんは、この関係を「原発マネー・ファシズム＝国内植民地化」と表現されました。